

イーサネットサービス契約約款

平成 26 年 4 月
株式会社 TOKAI コミュニケーションズ

イーサネットサービス契約約款

目次

第1章	総則(第1条—第3条)
第2章	イーサネットサービスの契約(第4条—第17条)
第3章	付加機能(第18条)
第4章	端末設備の提供等(第19条—第20条)
第5章	回線相互接続(第21条—第26条)
第6章	利用中止及び利用停止(第27条—第28条)
第7章	イーサネットサービス利用の制限(第29条—第31条)
第8章	料金等
	第1節 料金及び工事に関する費用(第32条)
	第2節 料金等の支払義務(第33条—第35条)
	第3節 割増金及び延滞利息(第36条—第37条)
第9章	保守(第38条—第41条)
第10章	損害賠償(第42条—第43条)
第11章	雑則(第44条—第55条)
	別表
	料金表
	附則

第1章 総則

第1条(約款の適用)

当社は、イーサネットサービス契約約款(料金表を含みます。以下「約款」といいます。)を定め、これにより、イーサネットサービスを提供します。

第2条(約款の変更)

当社は、この約款を変更することがあります。この場合の提供条件は、変更後の約款によります。

第3条(用語の定義)

この約款において、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

用語	用語の意味
1 電気通信設備	電気通信を行うための機械、器具、線路その他の電氣的設備
2 電気通信サービス	電気通信設備を使用して他人の通信を媒介すること、その他電気通信設備を他人の通信の用に供すること
3 電気通信回線設備	送信の場所と受信の場所との間を接続する伝送路設備及びこれと一体として設置される交換設備並びにこれらの附属設備
4 電気通信回線	電気通信事業者（電気通信事業法（昭和59年法律第86号。以下「事業法」といいます。）第9条の登録を受けた者並びに事業法第16条1項の届出をした者をいいます。以下同じとします。）が電気通信サービスの提供をするために使用する電気通信回線設備
5 イーサネット収容網	主としてデータ通信の用に供することを目的としてイーサネットフレームにより符号の伝送交換を行うための電気通信設備
6 イーサネットサービス	イーサネット収容網を使用して行う電気通信サービス
7 イーサネットサービス取扱所	1.イーサネットサービスに関する業務を行う当社の事業所 2.当社の委託によりイーサネットサービスに関する契約事務を行う者の事業所
8 イーサネット収容所	契約者回線を収容している事業所
9 契約	当社からイーサネットサービスの提供を受けるための契約
10 契約者	契約を締結している者
11 利用者	イーサネットサービスを利用する者
12 申込	契約の申込
13 相互接続点	当社と他の電気通信事業者との間の相互接続協定に基づく相互接続に係る電気通信設備の接続点
14 相互接続事業者	当社と相互接続協定を締結している電気通信事業者
15 特定相互接続事業者	DSL回線を提供する相互接続事業者
16 接続回線	相互接続点にその一端が終端する契約者回線
17 他社接続回線	相互接続点において接続回線と相互に接続する電気通信回線であって、当社以外の電気通信事業者が設置するもの
18 契約者回線	契約に基づいて設置される電気通信回線
19 契約者回線等	契約者回線及び当社が設置する電気通信設備
20 加入者回線	イーサネットサービス契約に基づいて当社が設置する電気通信回線設備の一部であって、そのイーサネットサービス契約者の指定する場所とイーサネットサービス収容所との間に設置するもの
21 中継回線	イーサネットサービス契約に基づいて当社が設置する電気通信回線設備のうちイーサネット収容所相互間の電気通信回線
22 端末設備	契約者回線の終端(相互接続点におけるものを除きます。)において、又は契約者回線の終端に接続される電気通信設備(相互接続事業者が設置するものを含みます。)を介して接続される電気通信設備であって、一の部分の設置の場所が他の部分の設置の場所と同一の構内(これに準ずる区域

	内を含みます。)又は同一の建物内であるもの
23 自営端末設備	契約者が設置する端末設備
24 自営電気通信設備	当社以外の者が設置する電気通信設備であって、端末設備以外のもの
25 技術基準	端末設備等規則(昭和60年郵政省令第31号)で定める技術基準及びイーサネット網に接続される端末の技術的条件
26 消費税相当額	消費税法(昭和63年法律第108号)及び同法に関する法令の規定にもとづき課税される消費税の額並びに地方税法(昭和25年法律第226号)及び同法に関する法令の規定に基づき課税される地方消費税の額
27 DSL方式	特定相互接続事業者の電話回線において、変復調装置を用いて高速の符号伝送を可能とする通信の伝送方式。
28 DSL回線	DSL方式を使用する電気通信回線

第2章 イーサネットサービスの契約

第4条(イーサネットサービスの種別・品目等)

契約には、料金表に規定する種別・品目及び保守の態様による細目があります。

第5条(契約の単位)

当社は、一の契約者回線ごとに一の契約を締結します。この場合、契約者は一の契約につき1人に限ります。

第6条(最低利用期間)

イーサネットサービスには、別表1に定める最低利用期間があります。

2. 契約者は、前項の最低利用期間内に契約の解除があった場合は、当社が定める期日までに、料金表の定めにより解除料を支払っていただきます。ただし、第17条(当社が行う契約の解除)第1項第2号および第3号においてはこの限りではありません。
3. 契約者は、第1項の最低利用期間内に利用休止または契約の解除があった場合は、当社が定める期日までに、残余の期間に対応する料金に相当する額を当社が別に定める方法により支払っていただきます。
4. 契約者は、第1項の最低利用期間内に契約者回線の品目の変更があった場合は、当社が定める期日までに、料金表に規定する額を支払っていただきます。
5. 契約者は、イーサネットサービスの開始前に契約の解除があった場合は、当社が定める期日までに、最低利用期間に対応する料金に相当する額を当社が別に定める方法により支払っていただきます。

第7条(契約者回線の終端)

当社は、契約者が指定した敷地内の建物又は工作物において、堅固に施設できる地点に配線盤又は端末設備を設置し、これを契約者回線の終端とします。

2. 当社は、前項で規定する契約者回線の終端の地点を定める時は、契約者と協議します。

第8条(契約申込の方法)

申込をするときは、次に掲げる事項について記載した当社所定の契約申込書を、契約事務を行うイーサネットサービス取扱所に提出していただきます。

- (1)氏名、住所及び連絡先
- (2)イーサネットサービスの種別・品目等
- (3)利用する回線の回線数
- (4)契約者回線の終端とする場所
- (5)その他申込の内容を特定するための事項

第9条(契約申込の承諾等)

当社は、契約申込があったときは、受け付けた順序に従って審査の上、承諾が適当であると判断したときは、承諾します。ただし、当社は、当社の業務の遂行上支障があるときは、その順序を変更することがあります。この場合、当社は、申込を行った者に対してその理由とともに通知します。

2. 当社は、前項の規定にかかわらず、イーサネットサービスを取り扱う上で支障が生じるときは、その承諾を延期することがあります。

3. 当社は、第1項の規定にかかわらず、次の場合には、その申込を承諾しないことがあります。

(1) 申込のあった契約者回線を設置し、又は保守することが技術上著しく困難なとき。

(2) 申込者がイーサネットサービスの料金又は工事に関する費用の支払を現に怠り、又は怠るおそれがあるとき。

(3) その他当社の業務の遂行上著しい支障があるとき。

第10条(イーサネットサービスの種別・品目の変更)

契約者は、イーサネットサービスの種別・品目の変更の請求をすることができます。

2. 当社は、前項の請求があったときは、第8条(契約申込の方法)及び第9条(契約申込の承諾等)の規定に準じて取り扱います。

第11条(契約者回線等の移転)

契約者は、契約者の負担により、同一の構内又は同一の建物内における、契約者回線の移転を請求できます。

2. 契約者回線の移転が前項に定める場所以外であった場合は、契約内容の変更又は制限がある場合があります。

3. 当社は、第1項の請求があったときは、第9条(契約申込の承諾等)の規定に準じて取り扱います。

4. 第1項の変更に必要な工事は、当社又は当社が指定した者が行います。

5. 契約者は、最低利用期間内に契約者回線の移転があった場合は、当社が定める期日までに、残余の期間に対応する料金に相当する額を一括して支払っていただきます。

6. 当社は契約者回線の移転があった場合は、移転完了より再度、最低利用期間を定めます。

第12条(契約者回線の利用の一時中断)

当社は、契約者から請求があったときは、契約者回線の利用の一時中断(その契約者回線を他に転用することなく一時的に利用できないようにすることをいいます。以下同じとします。)を行います。

2. 前項の期間は最長1年とします。最長期間を経過しても、契約者が新たに一時中断の請求や再開の請求を行わない場合には、当社は、その契約を解除する場合があります。

第13条(契約者の地位の承継)

相続又は法人の合併により契約者の地位の承継があったときは、相続人又は合併後存続する法人若しくは合併により設立された法人は、これを証明する書類を添えて、すみやかにイーサネットサービス取扱所に届け出ていただきます。

2. 前項の場合に、相続人が2人以上ある時は、そのうち1人を当社に対する代表者と定め、これを届け出ていただきます。これを変更したときも同様とします。

3. 当社は、前項の規定による代表者の届出があるまでの間、その地位を承継した者のうち1人を代表者として取り扱います。

第14条(その他の契約内容の変更)

当社は、契約者から請求があったときは、第8条(契約申込の方法)に規定する契約内容の変更を行います。

2. 当社は、前項の請求があったときは、第9条(契約申込の承諾等)の規定に準じて取り扱います。

第15条(譲渡の禁止)

契約者が契約に基づいてイーサネットサービスを受ける権利は、当社の承諾なしに譲渡することができません。

第16条(契約者が行う契約の解除)

契約者が、契約を解除しようとするときは、契約者はそのことを解除しようとする日の30日前までにイーサネットサービス取扱所に当社所定の方法により通知していただきます。

2. 前項による契約解除の場合、当社は、当社に帰する電気通信設備の資産等を撤去いたします。ただし、撤去に伴い、契約者が所有若しくは占有する土地、建物その他の工作物等の復旧を要する場合、契約者にその復旧に係る復旧費用を負担していただきます。

第17条(当社が行う契約の解除)

当社は、次の場合には、その契約を解除することがあります。

(1) 第28条(イーサネットサービスの利用停止)の規定によりイーサネットサービスの利用停止をされた契約者が、なおその事実を解消しないとき。

(2) 相互接続協定の解除、相互接続協定に係る電気通信事業者の電気通信事業の休止又は契約者回線に係る相互接続点の所在場所の変更若しくは廃止により、契約者が契約者回線を利用することができなくなった場合。

(3) 当社又は契約者の責に帰すべからざる事由により当社の電気通信設備の変更を余儀なくされ、かつ、代替構築が困難でイーサネットサービスの継続ができないとき。

2. 第28条(イーサネットサービスの利用停止)の規定のいずれかに該当する場合に、その事実が当社の業務の遂行に特に著しい支障を及ぼすと認められる相当の理由があるときは、前項の規定にかかわらず、イーサネットサービスの利用停止をしないでその契約を解除することがあります。

3. 当社は、第1項の規定により、その契約を解除しようとするときは、あらかじめ契約者にそのことを通知します。

4. 当社は、第1項の規定により、その契約を解除しようとするときは、当社に帰する電気通信設備の資産等を撤去いたします。ただし、撤去に伴い、契約者が所有若しくは占有する土地、建物その他の工作物等の復旧を要する場合、契約者にその復旧に係る復旧費用を負担していただきます。

第3章 付加機能

第18条(付加機能の提供等)

当社は、契約者から請求があったときは、料金表の規定により付加機能を提供します。

第4章 端末設備の提供等

第19条(端末設備の提供)

当社は、契約者から請求があったときは、その契約者回線について、料金表により端末設備を提供します。

第20条(端末設備の利用の一時中断)

当社は、契約者から請求があったときは、当社が提供する端末設備の利用の一時中断(その端末設備を他に転用することなく一時的に利用できないようにすることをいいます。以下同じとします。)を行います。

第5章 回線相互接続

第21条(回線相互接続の請求)

契約者は、その契約者回線の終端において又はその終端に接続されている電気通信設備を介して、その契約者回線と当社又は当社以外の電気通信事業者が提供する電気通信回線とを相互に接続する旨の請求をすることができます。この場合、その接続に係る電気通信回線の名称、その接続を行う場

所、その接続を行うために使用する電気通信設備の名称その他その接続の請求の内容を特定するための事項について記載した当社所定の書面を当社が別に定めるイーサネットサービス取扱所に提出していただきます。

2. 当社は、前項の請求があった場合において、その接続に係る電気通信回線の利用に関する当社又は当社以外の電気通信事業者の契約約款等によりその接続が制限されるときを除き、その請求を承諾します。この場合において、当社は相互に接続した電気通信回線により行う通信について、その品質を保証いたしません。

第22条(回線相互接続の変更・廃止)

契約者は、第21条(回線相互接続の請求)の回線相互接続を変更・廃止しようとするときは、その旨を当社に通知していただきます。

2. 第21条(回線相互接続の請求)の規定は、回線相互接続の変更について準用します。

第23条(他社接続回線の相互接続等)

当社は、接続回線に係る申込を承諾したときは、イーサネット収容所において、指定のあった他社接続回線との接続を行います。

第24条(他社接続回線接続変更)

当社は、契約者から請求があったときは、イーサネット収容所において、現在接続されている他社接続回線以外の他社接続回線への接続の変更(以下「他社接続回線接続変更」といいます。)を行います。

2. 当社は、前項の請求があったときは、第9条(契約申込の承諾等)の規定に準じて取り扱います。

第25条(接続回線の接続休止)

当社は、相互接続協定に基づく相互接続の一時停止又は相互接続協定の解除若しくは相互接続協定に係る電気通信事業者の電気通信事業の休止により、契約者が当社のイーサネットサービスを全く利用できなくなったときは、そのイーサネットサービスについて接続休止(そのイーサネットサービスに係る電気通信設備等を他に転用することを条件としてそのイーサネットサービスを一時的に利用できないようにすることをいいます。以下同じとします。)とします。

2. 前項の接続休止の期間は、その接続休止をした日から起算して別に定める期間とし、その接続休止の期間を経過した日において、その契約は解除されたものとして取り扱います。

3. 当社は、第1項の規定により、接続休止しようとするときは、あらかじめ、その契約者にそのことを通知します。

第26条(相互接続点の所在場所の掲示または変更等)

当社は、相互接続点所在場所等について、当社が指定するイーサネットサービス取扱所に掲示するものとします。

2. 前項の相互接続点の所在場所については、相互接続協定に基づき、これを変更することがあります。

第6章 利用中止及び利用停止

第27条(イーサネットサービスの利用中止)

当社は、次の場合には、イーサネットサービスの利用を中止することがあります。

- (1) 当社の電気通信設備の保守上又は工事上やむを得ないとき。
- (2) 第26条(相互接続点の所在場所の掲示または変更等)の規定により、接続回線に係る相互接続点の所在場所を変更するとき。
- (3) 第29条(イーサネットサービス利用の制限)の規定により、イーサネットサービスの利用を中止するとき。
- (4) 第30条(DSL回線による制約)の規定により、イーサネットサービスの利用を中止するとき。

(5)第31条(相互接続事業者の契約約款等による制約)の規定により、イーサネットサービスの利用を中止するとき。

2. 前項に規定する場合のほか、付加機能に関する利用について料金表に別段の定めがあるときは、当社は、その料金表に定めるところによりその付加機能の利用を中止することがあります。

3. 当社は、前各項の規定によりイーサネットサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを契約者に通知します。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

4. 当社は、この条に基づく利用中止により契約者が損害を被ったとしても、何らの責任も負いません。

第28条(イーサネットサービスの利用停止)

当社は、契約者が次のいずれかに該当するときは、6か月以内で当社が定める期間(そのイーサネットサービス等の料金、その他の債務(この約款の規定により、支払を要することとなったもの)に限ります。以下この条において同じとします。)を支払わないときは、その料金その他の債務が支払われるまでの間、そのイーサネットサービスの利用を停止することがあります。

(1)料金その他の債務について、支払期日を経過してもなお支払わないとき(支払期日を経過した後、当社が指定する料金収納事務を行う事業所以外において支払われた場合であって、当社がその支払の事実を確認できないときを含みます。)

(2)契約の申込にあたって、当社所定の書面に事実と反する記載を行った事が判明したとき。

(3)第45条(利用に係る契約者の義務)又は第46条(他人に使用させる場合の契約者の義務)の規定に違反したとき。

(4)事業法又は事業法施行規則に違反して当社の電気通信回線設備に自営端末設備、自営電気通信設備、他社回線又は当社の提供する電気通信サービスに係る電気通信回線を接続したとき。

(5)事業法又は事業法施行規則に違反して当社の検査を受けることを拒んだとき、又はその検査の結果、技術基準等に適合していると認められない自営端末設備若しくは自営電気通信設備について電気通信設備との接続を廃止しないとき。

(6)前各号のほか、この約款に違反する行為、イーサネットサービスの利用に関する当社の業務の遂行若しくは当社の電気通信設備のいずれかに著しい支障を与え又は与えるおそれのある行為を行ったとき。

2. 当社は、前項の規定によりイーサネットサービスの利用停止をしようとするときは、あらかじめその理由、利用停止をする日及び期間を契約者に通知します。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

3. 当社は、この条に基づく利用停止により契約者が損害を被ったとしても、何らの責任を負いません。

第7章 イーサネットサービス利用の制限

第29条(イーサネットサービス利用の制限)

当社は、天災、事変その他の非常事態が発生し、又は発生するおそれがある場合で必要と認めるときは、災害の予防若しくは救援、交通、通信若しくは電力の供給確保又は秩序の維持のために必要な事項を内容とする通信及び公共の利益のために緊急を要する事項を内容とする通信であって別表2に定める機関を優先的に取り扱うため、別表2に定める機関が利用している契約者回線(当社がそれらの機関との協議により定めたもの)に限ります。)以外のものによる通信の利用を制限することがあります。

2. 通信が著しくふくそうしたときは、イーサネットサービスを全く利用できない状態(通信に著しい支障が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。)となることがあります。

3. 利用者が、当社の電気通信設備に過大な負荷を生じさせる行為をしたときは、その利用を制限することがあります。

4. 当社は、この条に基づく利用の制限により契約者が損害を被ったとしても、何らの責任を負いません。

第30条(DSL回線による制約)

契約者は、特定相互接続事業者の契約約款及び料金表に規定するところにより、DSL回線を使用す

ることができない場合においては、イーサネットサービスの一部若しくは全部を利用することはできません。

2. 前項に規定するほか、DSL回線の回線距離若しくは設備状況又は特定相互接続事業者の提供する電気通信サービスに係る電気通信回線からの信号の漏洩等により、DSL回線から行う通信について伝送速度の低下、伝送速度の変動若しくは符号誤りが発生し、イーサネットサービスを全く利用できない状態(通信に著しい支障が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。)となることを承諾していただきます。

3. 当社は、この条に基づく制約により契約者が損害を被ったとしても、何らの責任を負いません。

第31条(相互接続事業者の契約約款等による制約)

契約者は、相互接続事業者の契約約款及び料金表に規定するところにより、イーサネットサービスに係る他社接続回線その他その相互接続事業者に係る電気通信設備を使用することができない場合においては、イーサネットサービスの一部若しくは全部を利用できません。

第8章 料金等

第1節 料金及び工事に関する費用

第32条(料金及び工事に関する費用)

当社が提供するイーサネットサービスの料金は、料金表(料金表及び当社が別に定める事業法施行規則第19条の2各号に掲げる料金をいいます。以下同じとします。)に定めるところによります。

2. 当社が提供するイーサネットサービスの工事に関する費用は、料金表に定めるところによります。
3. 料金及び工事に関する費用の支払方法は、当社が別に定めるところによります。

第2節 料金等の支払義務

第33条(利用料等の支払義務)

契約者は、その契約に基づいて当社がイーサネットサービスの提供を開始した日(優先制御機能及び端末設備の提供については、その提供を開始した日を含む月)から起算して、契約の解除があった日の前日(優先制御機能及び端末設備の廃止については、その廃止があった日を含む月)までの期間(提供を開始した日と解除又は廃止があった日が同一の日である場合は1日間とします。)について、当社が提供するイーサネットサービスの態様に応じて料金表に規定する利用料又は使用料(以下「利用料等」といいます。以下この条において同じとします。)の支払を要します。

2. 前項の期間において、利用の一時中断等によりイーサネットサービスの利用ができない状態が生じたときの利用料等の支払は、次によります。

- (1) 利用の一時中断をしたときは、契約者はその期間中の利用料等の支払を要します。
- (2) 利用停止があったときは、契約者は、その期間中の利用料等の支払を要します。
- (3) 前各号の規定によるほか、契約者は、次の表に掲げる場合を除き、イーサネットサービスを利用できなかった期間中の利用料等の支払を要します。

区 別	支払を要しない料金
1. 契約者の責めによらない理由により、そのイーサネットサービスを全く利用できない状態(その契約に係る電気通信設備によるすべての通信に著しい障害が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。)が生じた場合(次欄に該当する場合を除きます。)に、そのことを当社が認知した時刻から起算して、24時間以上その状態が連続したとき。(第30条(DSL回線による制約)の規定に基づく事由は除きます)	そのことを当社が認知した時刻以後の利用できなかった時間(24時間の倍数である部分に限ります。)について、24時間ごとに日数を計算し、その日数に対応するそのイーサネットサービスについての利用料等(その料金が料金表の規定により利用の都度発生するものを除きます。)
2. 当社の故意又は重大な過失によりイーサネット	そのことを当社が知った時刻以後の利用できなかった

サービスを全く利用できない状態が生じたとき。	た時間について、その時間に対応するイーサネットサービスについての利用料等。
------------------------	---------------------------------------

3. 第1項の期間において契約者がイーサネットサービスと相互に接続する他社接続回線の利用ができない状態が生じたときのイーサネットサービス利用料等の支払は、次によります。

(1) 他社接続回線の利用の一時中断、利用停止又は解除その他その他社接続回線に係る契約者に帰する事由により、他社接続回線を利用することができなくなった場合であっても、契約者はその期間中のイーサネットサービス利用料等の支払を要します。

(2) 前号の規定によるほか、契約者は、次の表に掲げる場合を除き、イーサネットサービスを利用できなかった期間中の利用料等の支払を要します。

区 別	支払を要しない料金
1. 契約者の責めによらない理由により、他社接続回線と相互に接続するイーサネットサービスを全く利用できない状態(その契約に係る電気通信設備によるすべての通信に著しい障害が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。)が生じた場合(次欄に該当する場合を除きます。)に、そのことを当社が認知した時刻から起算して、24時間以上その状態が連続したとき。	そのことを当社が認知した時刻以後の利用できなかった時間(24時間の倍数である部分に限ります。)について、24時間ごとに日数を計算し、その日数に対応するそのイーサネットサービスについての利用料等(その料金が料金表の規定により利用の都度発生するものを除きます。)
2. イーサネットサービスと相互に接続する他者接続回線に係る相互接続事業者の故意又は重大な過失によりイーサネットサービスの一部若しくは全部が利用できない状態が生じた場合にそのことを当社が認知した時刻から起算して、24時間以上その状態が連続したとき。	そのことを当社が認知した時刻以後の利用できなかった時間(24時間の倍数である部分に限ります。)について、24時間ごとに日数を計算し、その日数に対応するそのイーサネットサービス(そのイーサネットサービスの一部を利用できなかった場合は、その部分に限ります。)についての利用料等(その料金が料金表の規定により利用の都度発生するものを除きます。)

4. 当社は、支払を要しないこととされた利用料等が既に支払われているときは、その料金を返還しません。

第34条(手続に関する料金等の支払義務)

契約者は、約款に規定する手続の請求を行い当社がこれを承諾したときは、手続に関する料金の支払を要します。ただし、その手続の着手前にその契約が契約者の責めによらない理由により解除又は請求の取消しがあったときは、この限りではありません。この場合、既にその料金が支払われているときは、当社は、その料金を返還します。

第35条(工事に関する費用の支払義務)

契約者は、約款に規定する工事の請求を行い当社がこれを承諾したときは、工事に関する費用の支払を要します。ただし、工事の着手前にその契約が契約者の責めによらない理由により解除又は請求の取消し(以下この条において「解除等」といいます。)があったときは、この限りではありません。この場合、既にその料金が支払われているときは、当社は、その料金を返還します。

2. 工事の着手後完了前に解除等があった場合は、前項の規定にかかわらず、契約者は、その工事に関して解除等があったときまでに着手した工事の部分について、当社が別に算定した額を負担していただきます。この場合において、負担を要する費用の額は、別に算定した額に消費税相当額を加算した額とします。

第3節 割増金及び延滞利息

第36条(割増金)

契約者は、料金の支払を不法に免れた場合は、その免れた額のほか、その免れた額(消費税相当額を加算しない額とします。)の2倍に相当する額に消費税相当額を加算した額を割増金として、当社が

別に定める方法により支払っていただきます。

第37条(延滞利息)

契約者は、料金その他の債務(延滞利息を除きます。)について支払期日を経過してもなお支払がない場合には、支払期日の翌日から支払の日の前日までの日数について、年14.5%の割合で計算して得た額を延滞利息として当社が別に定める方法により支払っていただきます。ただし、支払期日の翌日から起算して10日以内に支払があった場合は、この限りではありません。

第9章 保守

第38条(当社の維持責任)

当社は、当社の設置した電気通信設備を事業用電気通信設備規則(昭和60年郵政省令第30号)に適合するように維持します。

第39条(契約者の維持責任)

契約者は、自営端末設備又は自営電気通信設備を、技術基準等に適合するよう維持していただきます。

第40条(修理又は復旧の順位)

当社は、当社の設置した電気通信設備が故障し、または滅失した場合に、全部を修理し、または復旧することができないときは、事業法施行規則に規定された公共の利益のため緊急に行うことを要する通信を優先的に取り扱うため、別表3に定める順序でその電気通信設備を修理又は復旧します。この場合において、第1順位及び第2順位の電気通信設備は同条の規定により当社がそれらの機関との協議により定めたものに限りします。

第41条(契約者の切分け責任)

契約者は、自営端末設備又は、自営電気通信設備(当社が別に定めるところにより、当社と保守契約を締結している自営端末設備又は自営電気通信設備を除きます。以下この条において同じとします。)が契約者回線に接続されている場合において、契約者回線等を利用することができなくなったときは、その自営端末設備又は自営電気通信設備に故障のないことを確認のうえ、当社に当社の電気通信回線設備その他電気通信設備の修理の請求をしていただきます。

2. 前項の確認に際して、契約者から要請があったときは、当社は、イーサネットサービス取扱所等において当社が別に定める方法により試験を行い、その結果を通知します。

3. 当社は、前項の試験により契約者回線その他当社の電気通信設備に故障がないと判定した結果の通知後において、契約者の請求により当社の係員を派遣した結果、故障の原因が自営端末設備又は自営電気通信設備にあったときは、契約者にその派遣に要した費用を負担していただきます。この場合において、負担を要する費用額は、派遣に要した費用の額に消費税相当額を加算した額とします。

第10章 損害賠償

第42条(責任の制限)

当社は、イーサネットサービスを提供すべき場合において、当社の責めに帰すべき理由によりその提供をしなかったときは、そのイーサネットサービスが全く利用できない状態(その契約に係る電気通信設備によるすべての通信に著しい支障が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。ただし、第30条(DSL回線による制約)の規定に基づく事由は除きます。以下この条において同じとします。)にあることを当社が認知した時刻から起算して、24時間以上その状態が連続したときに限り、その契約者が受けた損害を次項の定めに従って賠償します。

ただし、相互接続事業者が相互接続事業者の契約約款及び料金表に定めるところによりその損害を賠償する場合は、この限りではありません。

2. 前項の場合において、当社は、イーサネットサービスが全く利用できない状態にあることを当社が認知した時刻以後のその状態が連続した時間(24時間の倍数である部分に限ります。)について、24時間ごとに日数を計算し、その日数に対応するそのイーサネットサービスの利用料等の料金額を発生した損害とみなし、その額に限って賠償します。

3. 当社は、イーサネットサービスに係る設備その他の電気通信設備の設置、撤去、修理又は復旧の工事に当たって、契約者が所有若しくは占有する土地、建物その他の工作物等に損害を与えた場合に、それが当社の故意又は重大な過失により生じたものであるとき、それに起因して通常生じる直接的な現実の損害を賠償します。

第43条(免責)

当社は、契約者が本サービスの利用に関して被害を被った場合、第42条(責任の制限)の規定によるほかは、何らの責任も負いません。

2. 当社は、イーサネットサービスに係る設備その他の電気通信設備の設置、撤去、修理又は復旧の工事に当たって、契約者が所有若しくは占有する土地、建物その他の工作物等に損害を与えた場合に、それが当社の故意又は重大な過失により生じたものであるときを除き、その損害を賠償しません。

3. 当社は、この約款等の変更又は当社が別に定める技術的条件等の設定もしくは変更により、自営端末設備又は自営電気通信設備の改造又は変更(以下この条において「改造等」といいます。)を要する事となる場合であっても、その改造等に要する費用については負担しません。

第11章 雑則

第44条(承諾の限界)

当社は、契約者から工事その他の請求があった場合に、その請求を承諾することが技術的に困難なとき、若しくは保守することが著しく困難である等、当社の業務の遂行上支障があるとき(その請求に係る契約者回線が接続回線である場合において、その接続回線と他社接続回線との接続に関し、その他社接続回線に係る電気通信事業者の承諾が得られない場合、その他その請求内容が相互接続協定に基づき当社が別に定める条件に適合しない場合を含みます。)は、その請求を承諾しないことがあります。この場合は、その理由をその請求した契約者に通知します。ただし、この約款において別段の規定がある場合には、その規定によります。

第45条(利用に係る契約者の義務)

契約者は次の事を守っていただきます。

(1) 当社は、イーサネットサービスの提供に必要な電気通信設備の設置のための土地、建物その他の工作物等無償で使用できるものとします。この場合、地主、家主その他の利害関係人があるときは、当該契約者は予め必要な承諾を得ておくものとし、これに関する責任は契約者が負うものとします。

(2) 契約者は、当社又は当社の指定する者が、設備の設置、調整、検査、修理等を行うため、土地、建物その他の工作物等への立ち入りを求めた場合は、これに協力するものとします。

(3) 契約者は、当社が契約に基づき設置した電気通信設備を移動し、取り外し、変更し、分解し、若しくは損壊し、又はその設備に線条その他の導体を連絡しないこととします。ただし、天災、事変その他の事態に際して保護する必要があるとき又は自営端末設備若しくは自営電気通信設備の接続若しくは保守のために必要があるときは、この限りではありません。

(4) 契約者は、通信の伝送交換に妨害を与える行為を行わないこととします。

(5) 契約者は、当社が業務の遂行上支障がないと認めた場合を除いて、当社が契約に基づき設置した電気通信設備に他の機械、付加部品等を取り付けないこととします。

(6) 契約者は、当社が契約に基づき設置した電気通信設備を善良な管理者の注意をもって保管することとします。

(7) 契約者は、前各号の規定に違反して電気通信設備を亡失し、又はき損したときは、当社が指定する期日までにその補充、修繕その他の工事等に必要な費用を支払っていただきます。

第46条(他人に使用させる場合の契約者の義務)

契約者は、その契約者回線等を契約者以外の者に使用させる場合は、以下の責任を負っていただきます。

(1) 契約者は、第45条(利用に係る契約者の義務)の規定の適用については、善良な管理者の注意を怠らなかつた場合を除いて、その契約者回線等を使用する者の行為についても、当社に対して責任を負っていただきます。

(2) 契約者は、その契約者回線に関する料金又は工事に関する費用のうち、その契約者回線等を使用する者の使用によるものについても、当社に対して支払の責任を負っていただきます。

(3) 契約者は、第39条(契約者の維持責任)、第41条(契約者の切分け責任)の適用については、その契約者回線等に接続する端末設備又は自営電気通信設備のうち、その契約者回線等を使用する者の設置に係るものについても、当社に対して責任を負っていただきます。

第47条(契約者からの契約者回線等の設置場所の提供等)

契約者回線の一端のある構内(これに準ずる区域内を含みます。以下この条において同じとします。)又は建物内において、当社が契約者回線を設置するために必要な場所は、その契約者から提供していただきます。

2. 当社は、契約者回線の一端のある構内又は建物内において、契約者から管路等の特別な設備を使用して契約者回線等を設置することを求められたときは、契約者の負担によりその特別な設備を設置していただきます。

第48条(イーサネットサービス契約者の氏名等の通知)

当社は、相互接続事業者から請求があったときは必要がある場合に限り、契約者(その相互接続事業者とイーサネットサービスを利用するうえで必要な契約を締結している者に限ります。)の氏名及び住所等をその相互接続事業者に通知することがあります。

第49条(相互接続事業者からの通知)

必要がある場合に限り、当社が相互接続事業者から契約者の情報の通知を受けることについて、契約者に同意していただきます。

第50条(相互接続事業者による料金等の回収代行)

当社は契約者からの申し出があったとき、当社がこの約款の規定によりその契約者に請求することとした利用料金等に関して、当社の代理人として相互接続事業者が請求し、回収する取り扱いを行うことがあります。

2. 前項の規定により、相互接続事業者が請求した料金又は工事に関する費用について、その契約者が相互接続事業者の定める支払期日を経過してもなおその相互接続事業者を支払わないときは、当社は、前項に規定する取り扱いを廃止します。

第51条(相互接続事業者の電気通信サービスに関する料金等の回収代行)

当社は契約者からの申し出があったときは、次の場合に限り、相互接続事業者の提供する電気通信サービスに関する利用料金等に関して契約者に請求する費用について、相互接続事業者の代理人として当社の所定の請求書により請求し、回収する取り扱いを行うことがあります。

(1) その申し出をした契約者が当社が請求する料金又は工事に関する費用の支払を現に怠っていないとき、又は怠るおそれがないとき。

(2) その契約者の申し出について相互接続事業者が承諾するとき。

(3) その他当社の業務の遂行上支障がないとき。

2. 前項の規定により、当社が請求した料金又は工事に関する費用について、その契約者が相互接続事業者の定める支払期日を経過してもなおその相互接続事業者を支払わないときは、当社は、前項に規定する取り扱いを廃止します。

第52条(個人情報の取り扱い)

当社は、イーサネットサービスの提供にあたり、当社が取得する個人情報の取り扱いについては、次に定めるところ及び当社が別に定めるところによります。

(1) 当社は当社が保有しているイーサネットサービス契約者の個人情報について、本人から開示請求があった場合は、原則として開示をします。

(2) 契約者は開示請求をし、その個人情報の開示(該当個人情報が存在しない場合に、その旨を通知することを含みます。)を受けたときは、当社が別に定める手数料の支払を要します。

第53条(イーサネットサービスの技術的事項)

当社は、イーサネットサービスを利用するうえで参考となる技術資料を閲覧に供します。

第54条(営業区域)

営業区域は当社が別に定めるところによります。

第55条(閲覧)

この約款において、当社が別に定めることとしている事項については、当社は閲覧に供します。

別表1 最低利用期間

最低利用期間	1年
--------	----

別表2

機関名
気象機関 水防機関 消防機関 災害救助機関 警察機関(海上保安庁の機関を含みます。以下同じとします。) 防衛機関 輸送の確保に直接関係がある機関 通信の確保に直接関係がある機関 電力の供給の確保に直接関係がある機関 ガスの供給の確保に直接関係がある機関 水道の供給に直接関係がある機関 選挙管理機関 別表4の基準に該当する新聞社、放送事業者および通信社の機関 預貯金業務を行う金融機関 国又は地方公共団体の機関

別表3

順位	修理又は復旧する電気通信設備
1	気象機関が利用するもの 水防機関が利用するもの 消防機関が利用するもの 災害救助機関が利用するもの 秩序の維持に直接関係がある機関が利用するもの 防衛に直接関係がある機関が利用するもの 海上の保安に直接関係がある機関が利用するもの 輸送の確保に直接関係がある機関が利用するもの 通信役務の提供に直接関係がある機関が利用するもの 電力の供給に直接関係がある機関が利用するもの
2	水道の供給に直接関係がある機関が利用するもの ガスの供給に直接関係がある機関が利用するもの 新聞社等の機関が利用するもの 金融機関が利用するもの その他重要通信を取り扱う国又は地方公共団体の機関が利用するもの
3	第1順位及び第2順位に該当しないもの

別表4 新聞社等の基準

区分	基準
1 新聞社	次の基準のすべてを備えた日刊新聞紙を発行する新聞社 (1) 政治、経済、文化その他公共的な事項を報道し、又は論議することを目的として、あまねく発売されること。 (2) 発行部数が1の題号について、8,000部以上であること。
2 放送事業者	電波法(昭和25年法律第131号)の規定により放送局の免許を受けた者
3 通信社	新聞社又は放送事業者にニュース(1欄の基準のすべてを備えた日刊新聞紙に掲載し、又は放送事業者が放送するためのニュース又は情報(広告を除きます。)をいいます。)を供給することを主な目的とする通信社

料金表

通則

(料金表の適用)

1. イーサネットサービスに関する料金及び工事に関する費用は、この料金表に規定するほか、当社が別に定めるところにより適用します。

(料金等の変更)

2. 当社は、イーサネットサービスに関する料金及び工事に関する費用を当社が別に定めて変更することがあります。この場合には、変更後の料金及び工事に関する費用を適用します。

(消費税相当額の加算)

3. イーサネットサービス契約約款(以下、この料金表においては、「約款」といいます。)の規定により、この料金表に係る料金及び工事に関する費用について支払を要する額は、消費税相当額を加算した額とします。

(料金等の臨時減免)

4. 当社は、災害が発生し、又は発生するおそれがあるときは、約款の規定にかかわらず、臨時に、その料金又は工事に関する費用を減免することがあります。
5. 当社は、料金等の減免を行ったときは、関係のイーサネットサービス取扱所等に掲示する等の方法により、その旨を周知します。

(料金の計算方法)

6. 当社は、日割りで請求料金を決定するときの計算は、以下のとおりとします。

$$\text{(日割する金額)} = \left(\frac{\text{利用した日数}}{\text{当該月の総日数}} \times \text{当該月の利用料} \right)$$

7. 当社は、利用料の減免を行ったときの計算は、以下のとおりとします。

$$\text{(減免する金額)} = \left(\frac{\text{利用できなかった日数}}{\text{当該月の総日数}} \times \text{当該月の利用料} \right)$$

(端数処理)

8. 当社は、料金その他の計算において、その計算結果に1円未満の端数が生じた場合は、その端数を切り捨てます。
9. 他社接続回線と接続して提供するイーサネットサービスに係る料金及び工事に関する費用については、当社の提供区間と当社が別に定める相互接続事業者の提供区間とを併せて当社が設定します。

料金表
【適用】

区 分	内 容														
(1) サービス品質保証制度の適用範囲	<p>ア. 当社はイーサネットサービスの種別等に応じて、次表に規定するサービス品質保証制度を適用します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">サービス品質保証制度</th> <th style="text-align: center;">種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">故障回復時間</td> <td>第一種イーサネットサービス 第二種イーサネットサービス 第三種イーサネットサービス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">網内遅延時間</td> <td>第三種イーサネットサービス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">網稼働率</td> <td>第三種イーサネットサービス</td> </tr> </tbody> </table>	サービス品質保証制度	種別	故障回復時間	第一種イーサネットサービス 第二種イーサネットサービス 第三種イーサネットサービス	網内遅延時間	第三種イーサネットサービス	網稼働率	第三種イーサネットサービス						
サービス品質保証制度	種別														
故障回復時間	第一種イーサネットサービス 第二種イーサネットサービス 第三種イーサネットサービス														
網内遅延時間	第三種イーサネットサービス														
網稼働率	第三種イーサネットサービス														
(2) サービス品質(故障回復時間)に係る料金の適用	<p>ア. 当社は、契約者の責めによらない理由により、そのイーサネットサービスを全く利用できない状態(その契約に係る電気通信設備によるすべての通信に著しい障害が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。)が生じた場合に、そのことを当社が認知した時刻から起算して、1時間以上その状態が連続したとき(サービスクラスがシングルのも及び、加入者回線に係る区間を除く。)に限り、そのイーサネットサービス契約に係る料金(以下「故障回復時間返還料金額」といいます。)を返還します。</p> <p>ただし、約款第27条(イーサネットサービスの利用中止)第1項の規定並びに第28条(イーサネットサービスの利用停止)第1項に該当する場合に当社が予めその契約者に通知したとき又は第25条(接続回線の接続休止)の規定により接続休止とした場合はこの限りではありません。</p> <p>イ. アの規定により故障回復時間返還料金額を返還する場合は、当社は約款第33条(利用料等の支払義務)第2項第3号第1欄の規定は適用しません。</p> <p>ウ. 当社は、そのイーサネットサービスの一部又は全部が利用できない状態が連続した時点における、該当区間のその料金月に係る料金額の合計(以下「故障回復時間返還基準額」といいます。)を元に故障回復時間返還料金額を算出します。</p> <p>エ. アの場合において、そのイーサネットサービスが全く利用できない状態が連続した場合における故障回復時間返還料金額は、故障回復時間返還基準額に次表に規定する料金返還率を乗じて得た額とします。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">故障回復時間</th> <th style="text-align: center;">料金返還率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 時間以上 2 時間未満</td> <td style="text-align: center;">10%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 時間以上 4 時間未満</td> <td style="text-align: center;">20%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 時間以上 6 時間未満</td> <td style="text-align: center;">30%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6 時間以上 8 時間未満</td> <td style="text-align: center;">40%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8 時間以上 72 時間未満</td> <td style="text-align: center;">50%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">72 時間以上</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ. エの場合において、返還する故障回復時間返還料金額は、次の(ア)の規定により算出する料金額(以下「返還上限額」といいます。)を上限として適用します。</p> <p>(ア) その料金月に係る料金額の合計額から約款第33条(利用料等</p>	故障回復時間	料金返還率	1 時間以上 2 時間未満	10%	2 時間以上 4 時間未満	20%	4 時間以上 6 時間未満	30%	6 時間以上 8 時間未満	40%	8 時間以上 72 時間未満	50%	72 時間以上	100%
故障回復時間	料金返還率														
1 時間以上 2 時間未満	10%														
2 時間以上 4 時間未満	20%														
4 時間以上 6 時間未満	30%														
6 時間以上 8 時間未満	40%														
8 時間以上 72 時間未満	50%														
72 時間以上	100%														

<p>(2) サービス品質(故障回復時間)に係る料金の適用</p>	<p>の支払義務)の規定により支払を要しないこととなる料金額の合計額を減じた額とします。</p> <p>カ. 他のサービス品質保証制度による料金返還との重複については「(5)重複適用の上限」区分に定めるところによります。</p> <p>キ. アの場合において、そのイーサネットサービスの一部又は全部が利用できない状態が連続した場合が料金月において複数回となるときは、当社は、それぞれの故障回復時間返還料金額の合計額を返還します。ただし、その故障回復時間返還料金額の合計額が返還上限額を超える場合においては、当社は、返還上限額を返還します。</p>				
<p>(3) サービス品質(網内遅延時間)に係る料金の適用</p>	<p>ア. 当社は、当社が別に定める方法により測定したイーサネット収容網内の遅延時間(イーサネット収容網内でイーサネットフレームが往復に要する時間をいいます。)のその料金月での平均時間が 30 ミリ秒を超えた場合は、そのイーサネットサービス契約に係わる料金(以下「遅延時間返還料金額」といいます。)を返還します。</p> <p>ただし、約款第27条(イーサネットサービスの利用中止)第1項の規定並びに第28条(イーサネットサービスの利用停止)第1項に該当する場合に当社が予めその契約者に通知したとき又は第25条(接続回線の接続休止)の規定により接続休止とした場合はこの限りではありません。</p> <p>イ. アの規定により遅延時間返還料金額を返還する場合は、当社は約款第33条(利用料等の支払義務)第2項第3号第1欄の規定は適用しません。</p> <p>ウ. 当社は、そのイーサネットサービスの遅延時間が30ミリ秒を超えた場合における、その料金月に係る料金額の合計(以下「遅延時間返還基準額」といいます。)を元に遅延時間返還料金額を算出します。</p> <p>エ. アの場合において、遅延時間が30ミリ秒を超えた場合における遅延時間返還料金額は、遅延時間返還基準額に次表に規定する料金返還率を乗じて得た額とします。</p> <table border="1" data-bbox="675 1261 1351 1341"> <thead> <tr> <th>平均遅延時間</th> <th>料金返還率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 ミリ秒を超えた場合</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ. エの場合において、返還する遅延時間返還料金額は、「(2)サービス品質(故障回復時間)に係る料金の適用」に定める返還上限額を上限として適用します。</p> <p>カ. 他のサービス品質保証制度による料金返還との重複については「(5)重複適用の上限」区分に定めるところによります。</p>	平均遅延時間	料金返還率	30 ミリ秒を超えた場合	10%
平均遅延時間	料金返還率				
30 ミリ秒を超えた場合	10%				
<p>(4) サービス品質(網稼働率)に係る料金の適用</p>	<p>ア. 当社は、契約者の責めによらない理由により、そのイーサネットサービスを全く利用できない状態(その契約に係る電気通信設備によるすべての通信に著しい障害が生じ、全く利用できない状態と同程度の状態となる場合を含みます。)が生じた場合に、次の(ア)の規定により算出する稼働率が 99.99%を下回った場合(加入者回線に係る区間を除く)に限り、そのイーサネットサービス契約に係わる料金(以下「網稼働率返還料金額」といいます。)を返還します。</p> <p>ただし、約款第27条(イーサネットサービスの利用中止)第1項の規定並びに第28条(イーサネットサービスの利用停止)第1項に該当する場合に当社が予めその契約者に通知したとき又は第25条(接続回線の接続休止)の規定により接続休止とした場合はこの限りではありません。</p>				

<p>(4) サービス品質(網稼働率)に係る料金の適用</p>	<p>(ア) 網稼働率(%)=(1-契約するイーサネットサービスのすべての回線におけるその料金月にて利用できなかった総時間÷その利用月の総時間÷契約回線数)×100</p> <p>イ. アの規定により網稼働率返還料金額を返還する場合は、当社は約款第33条(利用料等の支払義務)第2項第3号第1欄の規定は適用しません。</p> <p>ウ. 当社は、そのイーサネットサービスの稼働率が 99.99%未満となった場合における、その料金月に係る料金額の合計(以下「網稼働率返還基準額」といいます。)を元に網稼働率返還料金額を算出します。</p> <p>エ. アの場合において、その稼働率が 99.99%を下回った場合における網稼働率返還料金額は、網稼働率返還基準額に次表に規定する料金返還率を乗じて得た額とします。</p> <table border="1" data-bbox="676 696 1353 936"> <thead> <tr> <th>網稼働率</th> <th>料金返還率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99.99%未満 99.8%以上</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>99.8%未満 98.0%以上</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>98.0%未満 95.0%以上</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>95.0%未満 90.0%以上</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>90.0%未満</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ. エの場合において、返還する網稼働率返還料金額は、「(2)サービス品質(故障回復時間)に係る料金の適用」に定める返還上限額を上限として適用します。</p> <p>カ. 他のサービス品質保証制度による料金返還との重複については「(5)重複適用の上限」区分に定めるところによります。</p>	網稼働率	料金返還率	99.99%未満 99.8%以上	1%	99.8%未満 98.0%以上	3%	98.0%未満 95.0%以上	10%	95.0%未満 90.0%以上	20%	90.0%未満	100%
網稼働率	料金返還率												
99.99%未満 99.8%以上	1%												
99.8%未満 98.0%以上	3%												
98.0%未満 95.0%以上	10%												
95.0%未満 90.0%以上	20%												
90.0%未満	100%												
<p>(5) 重複適用の上限</p>	<p>ア. 当社は、その料金月において、サービス品質に係わる料金の適用が重複する場合、適用する故障回復時間返還料金額、遅延時間返還料金額、網稼働率返還料金額の合計額を返還します。ただし、合計額が返還上限額を超える場合においては、返還上限額を返還します。</p>												
<p>(6) 細目に係る料金の適用</p>	<p>ア. 当社は料金額を適用するにあたって当社の提供する一部サービスについて以下に定める保守の態様による細目を適用します。</p> <p>保守の態様による細目 サービスクラスによる区別</p> <table border="1" data-bbox="660 1554 1339 1742"> <thead> <tr> <th>区 別</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デュアル</td> <td>中継回線ならびにイーサネットサービスに係る伝送機器が二重化されているもの</td> </tr> <tr> <td>シングル</td> <td>中継回線ならびにイーサネットサービスに係る伝送機器のいずれも二重化されていないもの</td> </tr> </tbody> </table>	区 別	内 容	デュアル	中継回線ならびにイーサネットサービスに係る伝送機器が二重化されているもの	シングル	中継回線ならびにイーサネットサービスに係る伝送機器のいずれも二重化されていないもの						
区 別	内 容												
デュアル	中継回線ならびにイーサネットサービスに係る伝送機器が二重化されているもの												
シングル	中継回線ならびにイーサネットサービスに係る伝送機器のいずれも二重化されていないもの												

【種別】第一種イーサネットサービス

1、初期料金

手続き・工事に関する費用の適用については、約款第34条(手続きに関する料金等の支払義務)、第35条(工事に関する料金等の支払義務)に定めるところによります。

(1) 登録・工事料金

品目	料金額 (税込額)	備考
10Mbps	100,000 円 (108,000 円)	
100Mbps	100,000 円 (108,000 円)	
1Gbps	200,000 円 (216,000 円)	
10Gbps	500,000 円 (540,000 円)	
100Gbps	500,000 円 (540,000 円)	

2、月額利用料

2-1. 料金額

利用料の適用については約款第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

(1) 基本料金(完全保証タイプ)

品目	保証速度	区間	料金額 (税込額)	
			デュアル	シングル
10Mbps	10Mbps	東京～静岡	500,000 円 (540,000 円)	—
		東京～名古屋	500,000 円 (540,000 円)	—
		静岡～名古屋	500,000 円 (540,000 円)	—
		東京～大阪	570,000 円 (615,600 円)	—
		同一都県内	320,000 円 (345,600 円)	320,000 円 (345,600 円)
		収容所折返し	—	170,000 円 (183,600 円)
100Mbps	100Mbps	東京～前橋	1,100,000 円 (1,188,000 円)	800,000 円 (864,000 円)
		東京～宇都宮	1,100,000 円 (1,188,000 円)	800,000 円 (864,000 円)
		東京～水戸	1,100,000 円 (1,188,000 円)	800,000 円 (864,000 円)
		東京～土浦	900,000 円 (972,000 円)	700,000 円 (756,000 円)
		東京～さいたま	900,000 円 (972,000 円)	700,000 円 (756,000 円)

100Mbps	100Mbps	東京～柏	900,000 円 (972,000 円)	700,000 円 (756,000 円)
		東京～千葉	900,000 円 (972,000 円)	700,000 円 (756,000 円)
		東京～横浜	900,000 円 (972,000 円)	700,000 円 (756,000 円)
		東京～厚木	900,000 円 (972,000 円)	700,000 円 (756,000 円)
		東京～静岡	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,000,000 円 (1,080,000 円)
		東京～甲府	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,000,000 円 (1,080,000 円)
		東京～名古屋	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,000,000 円 (1,080,000 円)
		東京～大阪	1,700,000 円 (1,836,000 円)	1,300,000 円 (1,404,000 円)
		横浜～名古屋	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,000,000 円 (1,080,000 円)
		横浜～大阪	1,700,000 円 (1,836,000 円)	1,300,000 円 (1,404,000 円)
		名古屋～大阪	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)
		横浜～静岡	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,000,000 円 (1,080,000 円)
		静岡～名古屋	1,500,000 円 (1,620,000 円)	1,000,000 円 (1,080,000 円)
		静岡～大阪	1,700,000 円 (1,836,000 円)	1,300,000 円 (1,404,000 円)
		同一都府県内	600,000 円 (648,000 円)	400,000 円 (432,000 円)
収容所折返し	—	320,000 円 (345,600 円)		
1Gbps	1Gbps	東京～前橋	3,300,000 円 (3,564,000 円)	1,500,000 円 (1,620,000 円)
		東京～宇都宮	3,300,000 円 (3,564,000 円)	1,500,000 円 (1,620,000 円)
		東京～水戸	3,300,000 円 (3,564,000 円)	1,500,000 円 (1,620,000 円)
		東京～土浦	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)
		東京～さいたま	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)
		東京～柏	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)

1Gbps	1Gbps	東京～千葉	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)
		東京～横浜	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)
		東京～厚木	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)
		東京～静岡	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		東京～甲府	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		東京～名古屋	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		東京～大阪	4,000,000 円 (4,320,000 円)	2,100,000 円 (2,268,000 円)
		東京～神戸	4,500,000 円 (4,860,000 円)	2,300,000 円 (2,484,000 円)
		東京～高松	5,000,000 円 (5,400,000 円)	2,500,000 円 (2,700,000 円)
		東京～岡山	5,000,000 円 (5,400,000 円)	2,500,000 円 (2,700,000 円)
		横浜～静岡	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		横浜～名古屋	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		横浜～大阪	4,000,000 円 (4,320,000 円)	2,100,000 円 (2,268,000 円)
		横浜～神戸	4,300,000 円 (4,644,000 円)	2,200,000 円 (2,376,000 円)
		横浜～岡山	5,000,000 円 (5,400,000 円)	2,500,000 円 (2,700,000 円)
		静岡～名古屋	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		静岡～大阪	4,000,000 円 (4,320,000 円)	2,100,000 円 (2,268,000 円)
		静岡～岡山	4,300,000 円 (4,644,000 円)	2,200,000 円 (2,376,000 円)
		名古屋～大阪	3,500,000 円 (3,780,000 円)	2,000,000 円 (2,160,000 円)
		名古屋～岡山	4,000,000 円 (4,320,000 円)	2,100,000 円 (2,268,000 円)
大阪～神戸	2,000,000 円 (2,160,000 円)	1,200,000 円 (1,296,000 円)		
大阪～高松	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)		

1Gbps	1Gbps	大阪～岡山	3,500,000 円 (3,780,000 円)	1,600,000 円 (1,728,000 円)
		同一都府県内	1,100,000 円 (1,188,000 円)	800,000 円 (864,000 円)
		東京都 23 区内	—	700,000 円 (756,000 円)
10Gbps	10Gbps	東京～前橋	7,000,000 円 (7,560,000 円)	4,000,000 円 (4,320,000 円)
		東京～宇都宮	7,000,000 円 (7,560,000 円)	4,000,000 円 (4,320,000 円)
		東京～水戸	7,000,000 円 (7,560,000 円)	4,000,000 円 (4,320,000 円)
		東京～土浦	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		東京～さいたま	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		東京～柏	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		東京～千葉	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		東京～横浜	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		東京～厚木	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		東京～静岡	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		東京～甲府	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		東京～名古屋	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		東京～大阪	14,000,000 円 (15,120,000 円)	8,000,000 円 (8,640,000 円)
		東京～神戸	16,000,000 円 (17,280,000 円)	10,000,000 円 (10,800,000 円)
		東京～高松	18,000,000 円 (19,440,000 円)	12,000,000 円 (12,960,000 円)
		東京～岡山	18,000,000 円 (19,440,000 円)	12,000,000 円 (12,960,000 円)
		横浜～静岡	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		横浜～名古屋	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
横浜～大阪	14,000,000 円 (15,120,000 円)	8,000,000 円 (8,640,000 円)		

10Gbps	10Gbps	横浜～神戸	15,000,000 円 (16,200,000 円)	9,000,000 円 (9,720,000 円)
		横浜～岡山	18,000,000 円 (19,440,000 円)	12,000,000 円 (12,960,000 円)
		静岡～名古屋	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		静岡～大阪	14,000,000 円 (15,120,000 円)	8,000,000 円 (8,640,000 円)
		静岡～岡山	15,000,000 円 (16,200,000 円)	9,000,000 円 (9,720,000 円)
		名古屋～大阪	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		名古屋～岡山	14,000,000 円 (15,120,000 円)	8,000,000 円 (8,640,000 円)
		大阪～神戸	5,000,000 円 (5,400,000 円)	3,000,000 円 (3,240,000 円)
		大阪～高松	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		大阪～岡山	9,000,000 円 (9,720,000 円)	5,000,000 円 (5,400,000 円)
		同一都府県内	4,500,000 円 (4,860,000 円)	2,500,000 円 (2,700,000 円)
		東京都 23 区内	—	2,000,000 円 (2,160,000 円)
100Gbps	100Gbps	東京都 23 区内	—	4,000,000 円 (4,320,000 円)

注1、 10Mbps 品目は別表に定める特定の都府県に対してのみ提供いたします。

注2、 各品目の区間のうち収容所折返し区間は別表に定める特定の区域にのみ提供いたします。

注3、 各品目の区間のうち同一都府県内区間および同一都府県内区間については、イーサネット収容所間のイーサネット収容網を要する場合はデュアル、要しない場合はシングルクラスを適用します。

(2) 基本料金(一部保証タイプ)

品目	保証速度	区 間	料 金 額 (税込額)	
			デュアル	シングル
10Mbps	1Mbps	東京～静岡	250,000 円 (270,000 円)	—
		東京～名古屋	250,000 円 (270,000 円)	—
		静岡～名古屋	250,000 円 (270,000 円)	—
		同一都県内	180,000 円 (194,400 円)	180,000 円 (194,400 円)
100Mbps	10Mbps	東京～静岡	600,000 円 (648,000 円)	—
		東京～名古屋	600,000 円 (648,000 円)	—
		静岡～名古屋	600,000 円 (648,000 円)	—
		同一都県内	350,000 円 (378,000 円)	350,000 円 (378,000 円)

注4、 各品目はふくそうが発生していない状態で品目の速度で符号伝送を行えます。また、ふくそうが発生した場合にも各品目の保証速度で符号伝送が行えます。

注5、 一部保証タイプは別表に定める特定の都県に対してのみ提供いたします。

注6、 各品目の区間のうち同一都県内区間については、イーサネット収容所間のイーサネット収容網を要する場合はデュアル、要しない場合はシングルのクラスを適用します。

(3) 屋内配線利用料

内 容	料 金 額 (税込額)	備 考
屋内配線利用料	—円 (—円)	基本料金に含む

工事等が必要な場合は実費請求する場合があります。

(5) IDC 接続タイプに係る基本料金(減額)の適用

当社は、専用線の契約者回線の一端が当社の指定するイーサネット収容所となる場合は、基本料金の料金額から次表に規定する額を減額して適用します。

品 目	保証速度	基本料金の月額減額(税込額)	
		デュアル	シングル
10Mbps	10Mbps	60,000 円 (64,800 円)	—
	1Mbps	50,000 円 (54,000 円)	—
100Mbps	100Mbps	120,000 円 (129,600 円)	40,000 円 (43,200 円)
	10Mbps	80,000 円 (86,400 円)	—
1Gbps	1Gbps	150,000 円 (162,000 円)	50,000 円 (54,000 円)

2-2. 端末設備使用料

端末設備使用料の適用については約款第19条(端末設備の提供等)、及び第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

項 目	料 金 額 (税込額)	備 考
端末設備	—円 (—円)	基本料金に含む

2-3. 解約手数料

内 容	料 金 額 (税込額)
当社が請求する手数料	5,000 円 (5,400 円)

工事等が必要な場合は実費請求します。

2-4. 一時中断中の利用料

項 目	料 金 額
月額利用料	月額利用料金合計の 10%

【種別】第二種イーサネットサービス

1、初期料金

手続・工事に関する費用の適用については、約款第34条(手続に関する料金等の支払義務)、第35条(工事に関する料金等の支払義務)に定めるところによります。

(1)登録・工事料金

内容	料金額(税込額)	備考
登録・工事費	50,000円(54,000円)	1拠点あたり

2、月額利用料

2-1.料金額

利用料の適用については、約款第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

(1)アクセス回線料金

(1)-1.当社契約者回線を使用して行うもの

①DSL回線によるもの

品目	保証速度	料金額(税込額)	備考(最大速度)
ADSL 1.5Mbps	ベストエフォート	35,000円(37,800円)	上り:512kbps 下り:1.5Mbps
ADSL 12Mbps	ベストエフォート	40,000円(43,200円)	上り:1Mbps 下り:12Mbps

②DSL回線以外のもの

アクセス回線基本料

品目	接続形態	料金額(税込額)
Ethernet	通常接続	40,000円(43,200円)
	IDC接続	10,000円(10,800円)
	VPN接続	10,000円(10,800円)

注1、IDC接続は契約者回線の一端を当社指定のイーサネット収容所での接続に限定いたします。

注2、VPN接続の申込は、「法人向けVPNルータレンタルサービス契約約款」における「イーサネット収容網接続パック」を同時に申し込み、同時に利用する必要があります。

注3、VPN接続の申込は、「第二種イーサネットサービス」のVPN接続以外いずれかの品目と組み合わせて契約する場合があります。

アクセス回線通信料(一部保証アクセス)

保証速度	料金額(税込額)	最大速度	料金額(税込額)
1Mbps	15,000円 (16,200円)	5Mbps	10,000円 (10,800円)
2Mbps	35,000円 (37,800円)	10Mbps	20,000円 (21,600円)
3Mbps	54,000円 (58,320円)	20Mbps	30,000円 (32,400円)
4Mbps	62,000円 (66,960円)	30Mbps	40,000円 (43,200円)

5Mbps	70,000 円 (75,600 円)	40Mbps	50,000 円 (54,000 円)
6Mbps	78,000 円 (84,240 円)	50Mbps	60,000 円 (64,800 円)
7Mbps	86,000 円 (92,880 円)	100Mbps	80,000 円 (86,400 円)
8Mbps	94,000 円 (101,520 円)		
9Mbps	102,000 円 (110,160 円)		
10Mbps	110,000 円 (118,800 円)		
20Mbps	160,000 円 (172,800 円)		
30Mbps	200,000 円 (216,000 円)		
40Mbps	230,000 円 (248,400 円)		
50Mbps	250,000 円 (270,000 円)		
100Mbps	330,000 円 (356,400 円)		

注4、 各品目はふくそうが発生していない状態で品目の速度で符号伝送を行えます。また、ふくそうが発生した場合においても各品目の保証速度で符号伝送が行えます。

注5、 一部保証アクセスは、保証速度と最大速度をそれぞれ任意に選択します。なお、最大速度を上回る保証速度を選択する事はできません。

アクセス回線通信料(完全保証アクセス)

保証速度	料 金 額 (税込額)
1Mbps	20,000 円 (21,600 円)
2Mbps	40,000 円 (43,200 円)
3Mbps	60,000 円 (64,800 円)
4Mbps	70,000 円 (75,600 円)
5Mbps	80,000 円 (86,400 円)
10Mbps	130,000 円 (140,400 円)
20Mbps	190,000 円 (205,200 円)
30Mbps	240,000 円 (259,200 円)
40Mbps	280,000 円 (302,400 円)
50Mbps	310,000 円 (334,800 円)
100Mbps	410,000 円 (442,800 円)

(1)ー2. 株式会社イー・アクセスの接続回線を使用して行うもの

品 目	保証速度	料 金 額 (税込額)	備 考 (最大速度)
イー・アクセス ADSL 12Mbps	128kbps	45,000 円 (48,600 円)	上り:1Mbps 下り:12Mbps
イー・アクセス ADSL 12Mbps	256kbps	50,000 円 (54,000 円)	上り:1Mbps 下り:12Mbps

(2)ゾーン間通信料

品 目	保証速度	料 金 額 (税込額)	備 考 (最大速度)
10Mbps	1Mbps	80,000 円 (86,400 円)	最大:10Mbps
	2Mbps	95,000 円 (102,600 円)	
	3Mbps	104,000 円 (112,320 円)	
	4Mbps	112,000 円 (120,960 円)	
	5Mbps	120,000 円 (129,600 円)	
	10Mbps	160,000 円 (172,800 円)	
20Mbps	2Mbps	105,000 円 (113,400 円)	最大:20Mbps
	4Mbps	122,000 円 (131,760 円)	
	6Mbps	138,000 円 (149,040 円)	
	8Mbps	154,000 円 (166,320 円)	
	10Mbps	170,000 円 (183,600 円)	
	20Mbps	220,000 円 (237,600 円)	
30Mbps	3Mbps	124,000 円 (133,920 円)	最大:30Mbps
	6Mbps	148,000 円 (159,840 円)	
	9Mbps	172,000 円 (185,760 円)	
	12Mbps	192,000 円 (207,360 円)	
	15Mbps	210,000 円 (226,800 円)	
	30Mbps	270,000 円 (291,600 円)	
50Mbps	5Mbps	170,000 円 (183,600 円)	最大:50Mbps
	10Mbps	210,000 円 (226,800 円)	

50Mbps	15Mbps	240,000 円 (259,200 円)	最大:50Mbps
	20Mbps	270,000 円 (291,600 円)	
	25Mbps	300,000 円 (324,000 円)	
	50Mbps	380,000 円 (410,400 円)	
100Mbps	10Mbps	270,000 円 (291,600 円)	最大:100Mbps
	20Mbps	340,000 円 (367,200 円)	
	30Mbps	390,000 円 (421,200 円)	
	40Mbps	430,000 円 (464,400 円)	
	50Mbps	460,000 円 (496,800 円)	
	100Mbps	590,000 円 (637,200 円)	

注6、 各品目はふくそうが発生していない状態で品目の速度で符号伝送を行えます。また、ふくそうが発生した場合においても各品目の保証速度で符号伝送が行えます。

注7、 ゾーン間通信料は、ゾーンをまたがる通信を行う際に、ゾーン間通信網へのアクセス回線として各ゾーン毎に必要となります。ただし、ADSL アクセスにおいてはゾーン間通信料は必要ありません。

(4) 屋内配線利用料

内容	料金額 (税込額)	備考
DSL回線によるもの	1,000 円 (1,080 円)	
DSL回線以外のもの	2,000 円 (2,160 円)	

2-2. 端末設備使用料

端末設備使用料の適用については約款第19条(端末設備の提供等)、及び第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

項目	料金額 (税込額)
DSLモデム	500 円 (540 円)
DSLモデム(多機能タイプ)	1,100 円 (1,188 円)
メディアコンバータ	5,000 円 (5,400 円)

2-3. 解約手数料

内容	料金額 (税込額)
当社が請求する手数料	5,000 円 (5,400 円)

工事等が必要な場合は実費請求します。

2-4. 一時中断中の利用料

項目	料金額
端末設備使用料を除く月額利用料	月額利用料金合計の10%
端末設備使用料	端末設備使用料の全額

【種別】第三種イーサネットサービス

1、初期料金

手続き・工事に関する費用の適用については、約款第34条(手続きに関する料金等の支払義務)、第35条(工事に関する料金等の支払義務)に定めるところによります。

(1)回線 登録・工事料金

提供I/F	料 金 額 (税込額)	備 考
10BASE-T	50,000 円 (54,000 円)	
100BASE-TX	50,000 円 (54,000 円)	
1000BASE-T、 1000BASE-SX、 1000BASE-LX	100,000 円 (108,000 円)	
10GBASE-SR,10GBASE-LR	250,000 円 (270,000 円)	

(2)付加機能 登録・工事料金

サービス種別	料 金 額 (税込額)
帯域共有型	200,000 円 (216,000 円)
帯域設定型	300,000 円 (324,000 円)

2、月額利用料

2-1. 料金額

利用料の適用については約款第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

(1)基本料金(帯域確保)

提供I/F	確保帯域	料 金 額 (税込額)	
		局内接続型	アクセス回線型
10BASE-T	10Mbps	147,000 円 (158,760 円)	288,800 円 (311,904 円)
100BASE-TX	10Mbps	178,500 円 (192,780 円)	320,300 円 (345,924 円)
	20Mbps	241,500 円 (260,820 円)	420,000 円 (453,600 円)
	30 Mbps	294,000 円 (317,520 円)	498,800 円 (538,704 円)
	50 Mbps	367,500 円 (396,900 円)	609,000 円 (657,720 円)
	100Mbps	441,000 円 (476,280 円)	750,800 円 (810,864 円)
1000BASE-T、 1000BASE-SX、 1000BASE-LX	100 Mbps	472,500 円 (510,300 円)	782,300 円 (844,884 円)
	200 Mbps	491,600 円 (530,928 円)	813,800 円 (878,904 円)
	300 Mbps	594,200 円 (641,736 円)	1,066,100 円 (1,151,388 円)
	500 Mbps	803,000 円 (867,240 円)	1,396,500 円 (1,508,220 円)
10GBASE-SR、 10GBASE-LR	1Gbps	1,083,200 円 (1,169,856 円)	1,837,500 円 (1,984,500 円)
	1 Gbps	1,153,500 円 (1,245,780 円)	1,911,500 円 (2,064,420 円)
	2 Gbps	1,414,800 円 (1,527,984 円)	2,408,500 円 (2,601,180 円)
	3 Gbps	1,833,100 円 (1,979,748 円)	3,034,700 円 (3,277,476 円)
	5 Gbps	2,309,700 円 (2,494,476 円)	3,823,800 円 (4,129,704 円)
	10 Gbps	2,854,100 円 (3,082,428 円)	4,725,000 円 (5,103,000 円)

(2)基本料金(ベストエフォート)

提供I/F	最大帯域	料金額 (税込額)	備考
100BASE-TX	100Mbps	30,000 円 (32,400 円)	

注1、 ベストエフォート型の申込は、「法人向け VPN ルータレンタルサービス契約約款」における「イーサネット収容網接続パック」を同数申し込み、同時に利用する必要があります。

注2、 ベストエフォート型の申込は、「第三种イーサネットサービス」のベストエフォート型以外いずれかの品目と組み合わせて契約する場合があります。

(3)屋内配線利用料

内容	料金額 (税込額)	備考
屋内配線利用料	－円 (－円)	基本料金に含む

工事等が必要な場合は実費請求する場合があります。

2-2. 端末設備使用料

端末設備使用料の適用については約款第19条(端末設備の提供等)、及び第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

項目	料金額 (税込額)	備考
端末設備	－円 (－円)	基本料金に含む

2-3. 付加機能利用料

付加機能利用料の適用については、第18条(付加機能の提供等)、及び第33条(利用料等の支払義務)に定めるところによります。

(1) 優先制御機能

区分		料 金 額 (税込額)
フレームを、フレームごとにあらかじめ指定した優先順位にしたがって、契約者回線、又は加入者回線の終端の方向に転送する機能	第三種契約の確保帯域が 10Mbps のとき	15,000 円 (16,200 円)
	第三種契約の確保帯域が 20Mbps のとき	20,000 円 (21,600 円)
	第三種契約の確保帯域が 30 Mbps のとき	30,000 円 (32,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 50 Mbps のとき	50,000 円 (54,000 円)
	第三種契約の確保帯域が 100 Mbps のとき	100,000 円 (108,000 円)
	第三種契約の確保帯域が 200 Mbps のとき	155,000 円 (167,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 300 Mbps のとき	205,000 円 (221,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 500 Mbps のとき	255,000 円 (275,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 1 Gbps のとき	355,000 円 (383,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 2 Gbps のとき	455,000 円 (491,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 3 Gbps のとき	555,000 円 (599,400 円)
	第三種契約の確保帯域が 5 Gbps のとき	655,000 円 (707,400 円)
第三種契約の確保帯域が 10 Gbps のとき	800,000 円 (864,000 円)	

相互接続キャリアによる回線 及び ベストエフォート型では、本機能は利用できません。

(2) 回線集約機能

項目		料 金 額 (税込額)
サービス種別	帯域共有型	200,000 円 (216,000 円)
	帯域設定型	700,000 円 (756,000 円)
VLAN 利用		5,000 円 (5,400 円)

VLAN 利用料は追加 1VLAN あたりの料金となります。

2-4. 一時中断中の利用料

項 目	料 金 額
月額利用料	月額利用料金合計の 10%

3、追加・変更・解約料金

手続き・工事に関する費用の適用については、約款第34条(手続きに関する料金等の支払義務)、第35条(工事に関する料金等の支払義務)に定めるところによります。

3-1. 追加・変更料金

内 容	料 金 額 (税込額)
回線集約機能 登録・試験	100,000 円 (108,000 円)

3-2. 解約手数料

内 容	料 金 額 (税込額)
当社が請求する手数料	5,000 円 (5,400 円)

工事等が必要な場合は実費請求します。

別表

○特定の都府県

区域
静岡県、愛知県、東京都、大阪府のいずれも一部

○特定の区域

区域
静岡県沼津市、富士市、富士宮市、静岡市、掛川市、磐田市、浜松市 いずれも一部

○ゾーン

区域
1. 静岡県における当社電気通信設備と接続するもの
2. 東京都における当社電気通信設備と接続するもの
3. 愛知県における当社電気通信設備と接続するもの

附則(平成15年1月1日)

(実施期日)

平成15年1月1日から実施します。

附則(平成15年10月23日)

この改正規定は、平成15年11月1日より実施します。

附則(平成16年8月23日)

この改正規定は、平成16年9月1日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成17年4月1日)

この改正規定は、平成17年4月1日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成17年6月1日)

この改正規定は、平成17年6月1日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成17年9月1日)

この改正規定は、平成17年9月1日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成18年7月1日)

この改正規定は、平成18年7月1日より実施します。

附則(平成22年8月1日)

この改正規定は、平成 22 年8月1日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成23年10月1日)

この改正規定は、平成23年10月1日より実施します。

附則(平成24年7月1日)

この改正規定は、平成 24 年 7 月 1 日より実施します。

附則(平成25年4月1日)

この改正規定は、平成 25 年 4 月1日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成25年5月31日)

この改正規定は、平成 25 年 6 月 1 日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。

附則(平成25年7月1日)

この改正規定は、平成 25 年 7 月 1 日より実施します。

附則(平成25年9月1日)

この改正規定は、平成 25 年 9 月 1 日より実施します。

附則(平成25年11月1日)

この改正規定は、平成 25 年 11 月 1 日より実施します。

附則(平成25年12月1日)

この改正規定は、平成 25 年 12 月 1 日より実施します。

附則(平成26年4月1日)

この改正規定は、平成 26 年 4 月 1 日より実施します。この改正規定実施前に支払又は支払うべき電気通信サービスの料金その他の債務については、なお従前の通りとします。